

第 31 回荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 議事要旨

●平成 24 年 7 月 21 日 (土)11:00~12:00、桶川市農業センター

【議事結果】

- 広報 WG より提案のあった「イベント実行委員会」の実行委員が決定した。
- 広報 WG より報告のあった「イメージキャラクター公募」については、グループでの応募も可能であることを HP で追加告知しておくこととする。
- 情報発信基地が埼玉大学の浅枝研究室内に設置された。

【主な議事内容】

◎報告事項

●第 30 回荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事要旨

- ・ 「施工中に土壌から発する『臭気』が酷い」云々と書いてあるが、池をつくったのはいいのだけれども、後で魚が死んだとならないか？
→ そういうレベルものではないので大丈夫です。

●生態系モニタリング専門委員会・管理目標WG活動報告

(質疑応答無し)

●広報WG活動報告

(質疑応答無し)

●施工箇所の定点撮影等について

(質疑応答無し)

◎議事事項

●イベント実行委員会の設立について

- ・ イベントの目的がよくわからない。自然再生事業をやっていますよという広報が主力なのか、単純な草取りなのか？
→ あくまで広報活動である。
→ 若い人たちが感じるようなものをぜひ企画していただきたい。
- ・ 池 1 つ見るにしても、見る場所がないとよその人を呼んでもだめだと思うので、まず最小限、見学コースをつくることを考えて欲しい。
→ それも含めて実行委員会で考える。
- ・ 実行委員長以下、各担当を決定。広報 WG の委員はすべて実行委員となる。
- ・ 8 月の草刈り時には原田委員がトラクターで協力する。
- ・ 今後、環境団体からボランティアとして出ることになった場合、費用をある程度は出してもらえるのか？
→ 今は荒川上流河川事務所をお願いできる部分をお願いしているが、未来永劫続くものではない。自立する方向を目指していくのが、今いろいろなところでやられている自然再生事業に課せられている命題である。

- 国有地の中で河川環境を整備するという命題があるわけだから、ある程度責任を持つということではないのか？
- それは別の問題で、ここで決められる話ではない。
- 個々のNPOはまず無理だと思う。公園緑地制度などを利用して維持管理するという方法論はあると思う。それについてちょっと議論したらどうか？
- 今は実行委員会を決める場なので、まずこちらを決める。背景のそのような非常に難しい問題はこれからこなしていかなければならない。

●イメージキャラクター公募について

- ・ グループでも応募できるような記述を入れたほうがいい。
 - チラシは配布済みなので、ホームページに入れる。

●その他

- ・ 情報発信のツールとしての基地が埼玉大学の浅枝研究室内に設置された。出入りの条件などは検討中であり、決定次第、周知する。
- ・ 8月11日の草刈りは、先ほどのメンバー以外にも募集をかけているのでよろしく願いしたい。事前にメール、ファクス等で回答をお願いしたい。
- ・ 池のDの安全性について心配している地元の方が2～3人いる。大丈夫なのか？
 - 木柵に針金を渡したものを周りに設置している。